

しまんとしんいちじさんぎょうかぶしきがいしゃ
しまんと新一次産業株式会社

～食を通じて持続可能な社会を創る～



2018年迄は傾斜地で栽培、
新植を行っていました。



現在は耕作放棄地(平地)を栗園へ
転換し、拡大に努めています



地域の食を守りながら、耕作放棄地の
活用に取組んでいます。

経緯

- 約50年前まで北幡地区(四万十町含む)は栗の一大産地であった(約800tの収穫量)が、現在は5～10%の収穫量。
- 生産量を上げる為H24年から山や土地の開拓に取組み、H29年には加工場を設立し、栗の一貫体制に取組む

取組内容

- 栽培: 環境保全・収量増の考えから、超低樹高栽培による無農薬栽培を実施。
- 加工: 産業創出・品質向上の考えから地元加工場を設立。
- 生産: 傾斜地から平地へ、かつ耕作放棄地を栗園へ転換した取組みを継続。

活動の効果

- 栗による地域活性の広がり
傾斜地から平地展開によって栽培意欲が向上。また、高齢化に伴い年々栽培が厳しくなりつつある水田を活用することで、耕作放棄地の解消にも繋がっている。
- 栗生産量の底上げ
四万十栗(ブランド)の継承、及び四万十町全体の栗生産量の拡大。
- 地元産業の活性化
自社栗園の生産、加工場におけるペースト加工販売による売上拡大、雇用拡大

応募団体からのアピール・メッセージ

この地域で育ち、この地域でしか味わうことのできない素材、それを加工する技術の継承に努めるとともに、継続できる仕組みづくりを新たに築き、四万十町が食を通じて持続可能な地域となるよう取り組んで参ります。
何より、地域の人や若者が誇りをもって豊かに暮らしていけるよう取り組んで参ります。